

名古屋市立大学 SDGs活動レポート (2023年度版)



SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 人文社会学部現代社会学科・社会調査実習報告書『水環境を中心とする市民・市民団体・行政の関わり方一庄内川・山崎川・鳥川・恵那峡を事例に一』の刊行

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

人文社会学部現代社会学科・社会調査実習報告書『水環境を中心とする市民・市民団体・行政の関わり方一庄内川・山崎川・鳥川・恵那峡を事例に一』の刊行



活動の概要	<p>人文社会学部現代社会学科では、毎年、社会調査実習という授業を開講しています。各担当教員の指導のもと、中京圏の様々な社会問題の現状と課題について、社会調査を行っています（例：メディア報道、地域コミュニティ・家族、労働、都市…）。このうち、馬渡班では中京圏の水環境が誰によって、どのように守られているのか、その現状と課題を、地域資料の整理・読解、現地フィールドワークや関係者への聞き取りに基づいて調べました。</p> <p>事例としては、学生の関心に基づき、豊かな自然を持つ広域的な都市河川である庄内川、生物多様性を目指した市民活動が行われている都市河川の山崎川、ホテル保護活動で著名な鳥川、水辺を活かした観光資源を有する恵那峡を選定しました。調査の成果について、この度、報告書『水環境を中心とする市民・市民団体・行政の関わり方一庄内川・山崎川・鳥川・恵那峡を事例に一』を取りまとめました。</p> <p>近年では、持続可能なより良い水環境を目指すための連携が行政、市民団体、地域住民等の中で志向されていますが、他方で水環境は人々や社会との関わりの中で、治水・防災・生物多様性・産業など、多様な価値観や人々の活動を映し出し、せめぎ合う場であり続けていることを学生たちは認識しました。また、人々がとりわけ都市社会で生活をつづけるなかで、自然環境の存在や環境との関わりが生活の背景に退いていることも改めて認識しました。特に後者の、市民の水環境に対する関心・無関心については、『市民の無関心』がどのような状態を示すのかを掘り下げながら、今年度も継続して調査していきたいと考えています。</p>
活動の時期	2022年4月から2023年4月まで
担当教員	馬渡玲欧（人文社会学部現代社会学科講師／SDGsセンター員）
関連URL	名古屋市立大学人文社会学部現代社会学科

名古屋市立大学人文社会学部
現代社会学科社会調査実習報告書
2022年度 第3分冊

水環境を中心とする 市民・市民団体・行政の関わり方 一庄内川・山崎川・鳥川・恵那峡を事例に一

〔 2022年度・現代社会学科調査実習報告書 〕

第3分冊

名古屋市立大学人文社会学部
現代社会学科

2022年度社会調査実習報告書（馬渡班）表紙

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

[交通アクセス](#) [キャンパスマップ](#)

滝子(山の畑)キャンパス

〒467-8501
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

[交通アクセス](#) [キャンパスマップ](#)

田辺通キャンパス

〒467-8603
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
-----	-------

[交通アクセス](#) [キャンパスマップ](#)

北千種キャンパス

〒464-0083
名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
-------	---------

[交通アクセス](#) [キャンパスマップ](#)

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 人文社会学部現代社会学科・社会調査実習報告書『木曽三川における地域環境教育のあり方』の刊行

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

人文社会学部現代社会学科・社会調査実習報告書『木 曽三川における地域環境教育のあり方』の刊行



活動の概要	<p>人文社会学部現代社会学科では、毎年、社会調査実習という授業を開講しています。各担当教員の指導のもと、中京圏の様々な社会問題の現状と課題について、主にフィールドワークやインタビュー調査を中心とした社会調査を行っています。東海社会学会インターカレッジ発表会で報告をしており、調査経験とプレゼンテーションに力を入れた教育活動を行っています。この度、報告書『木曽三川における地域環境教育のあり方』を刊行しました。</p> <p>【社会調査実習の内容】</p> <p>今年度の馬渡班では木曽三川における地域環境教育の現状について、地域資料の整理・読解、現地フィールドワークや関係者への聞き取り、ボランティア活動への参加等を通して調べました。水環境と私たちの関係は切っても切り離せないものであるにもかかわらず、実際には水環境とどのように付き合っていけば良いかわからない現状があります。特に学校外の社会教育の現場で、どのような内容の環境教育が行われているのか、その実態や伝え方、教育の工夫、各団体の抱える課題等を調査しました。調査に協力いただいた各務原木曽川かわまちづくり会は、産官学民が連携したかわまちづくりの実現を目指している団体です。同会は、近隣の国立研究開発法人土木研究所自然共生研究センターの専門家と協力して、小学生とその保護者（親子）を対象とした「おさかな観察会」などのイベントを定期的で開催しています。子どもたちはイベントにおいて、専門家の助けも借りながら生き物に関する正しい知識を身につけることができます。しかし、単なる知識の習得に終わることなく、五感を通じて直接自然を感じるすることができます。このような取り組みを通して、「地域の自然環境への愛着がわき、環境保全に関心を持てるようになる」「地元の良さを認識することによって、将来のUターン就職率を高める」「Uターンの際には「地元の良さ」を発信する立場を担えるようになる」「専門家との連携によって、研究等の将来の進路選択にもつながる」ことを目指しています。また、同会が開催する「かわまちランバイク大会」へのボランティア参加を通して、水辺空間の利用によって地域が盛り上がる様子を目の当たりにし、受講者は「まちとかわのつながり」を感じることができました。このような地元住民が担う「かわまちづくり」の活動は、子どもたちに対する地域環境教育の一環として位置づけられるでしょう。</p>
活動の時期	2023年4月から2024年4月まで
担当教員	馬渡玲欧（人文社会学部現代社会学科講師／SDGsセンター員）
関連URL	名古屋市立大学人文社会学部現代社会学科 東海社会学会インターカレッジ発表会 人間文化研究科の馬渡玲欧講師のインタビュー記事がWebメディア『ミズテル』に掲載されました

木曽三川における 地域環境教育のあり方

[2023年度・現代社会学科社会調査実習報告書]

第4分冊

名古屋市立大学人文社会学部
現代社会学科

2023年度社会調査実習報告書（馬渡班）表紙

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部

医学研究科

看護学研究科

交通アクセス

キャンパスマップ

滝子(山の畑)キャンパス

〒467-8501

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部

経済学研究科

人文社会学部

人間文化研究科

総合生命理学部

理学研究科

データサイエンス学部

データサイエンス研究科

交通アクセス

キャンパスマップ

田辺通キャンパス

〒467-8603

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部

薬学研究科

交通アクセス

キャンパスマップ

北千種キャンパス

〒464-0083

名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部

芸術工学研究科

交通アクセス

キャンパスマップ

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 淡水・沿岸魚類の系統地理構造に基づくインドネシア島嶼域の生物地理区境界線の検証

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

淡水・沿岸魚類の系統地理構造に基づくインドネシア島嶼域の生物地理区境界線の検証



研究開始時の研究の概要	<p>名古屋市立大学生物多様性研究センターの熊澤教授（理学研究科）が代表となって進めている本研究では、ワラセアと呼ばれる動物相の遷移帯を中心に、インドネシア島嶼域の淡水魚と汽水・沿岸魚を野外採集し、分類学的検討を行うとともに、最新の分子的アプローチを用いた系統・集団解析を行う。その結果に基づき、塩水中の分散特性が異なる魚類の種（集団）分布や系統地理構造を古環境学的背景と関連づけて理解し、生物地理区境界線との関わりを高精度に検証する。インドネシア島嶼域では、近年の環境破壊で生態系の持続性に深刻な懸念が持たれている。本研究は、生物地理学を格段に発展させるのみならず、東南アジア諸国で生物多様性の保全と生物資源の持続的利用を図るうえで必要な研究人材とそのネットワークを育てることに繋がる。</p>
研究実績の概要	<p>2022年度の前半は新型コロナウイルス感染症の影響で、日本側研究者がインドネシアを訪問して現地調査を実施することが難しかった。そこでインドネシアおよびタイの研究協力者による魚類サンプル採集を複数回実施した。インドネシアでは、2022年の6月から8月に主にスマトラ島の広範な地点で、2023年の1月から3月にジャワ島・スマトラ島などいくつかの島でサンプリングを実施した。また、3月には研究協力者のMr. Kholil（研究代表者の研究室に所属する国費留学生）がボルネオ島に行き、サンプリングを行った。大小河川の河口域や湖沼を中心に、ハゼ目のオクスデルクス科などの科を構成する約20種の淡水・汽水魚類標本を採集できた。また、スズキ目の様々な科に属する約15種を中心とした沿岸魚類の標本も収集できた。採集されたサンプルがカバーする魚種数は前年度より少ないが、これは研究する対象魚を絞り込んでサンプリングを行ったためである。</p> <p>これらの標本の一部は、インドネシア政府またはタイ政府の許可を得て、研究代表者の研究室に提供され、国際共同研究体制のもとで系統分類学的研究を行なった。組織標本については、そこからDNAデータを抽出して、ミトコンドリアDNAにコードされるシトクロムオキシダーゼサブユニットI遺伝子の塩基配列を決定し、分子系統解析を実施した。ホルマリン固定された体標本については、形態学的な分析を行い、現行の分類学的情報による種同定と分子情報に基づく系統関係の対比を行った。ハゼ目オクスデルクス科やスズキ目ツバメコノシロ科などの分類群において、従来の分類学的研究では認識されていなかった新種の存在が示唆されており、それについて詳しく分子系統学的・形態学的解析を行った。</p> <p>本研究課題の国際共同研究チームのメンバー間で研究成果を共有するために、zoomを利用した科学セミナーを7月と12月に公開で実施した。</p>
研究代表	名古屋市立大学生物多様性研究センター 熊澤 慶伯（理学研究科）
研究期間	2019年度から2024年度
関連URL	<ul style="list-style-type: none"> 淡水・沿岸魚類の系統地理構造に基づくインドネシア島嶼域の生物地理区境界線の検証 名古屋市立大学生物多様性研究センター

スマートフォン表示

PC表示

ニュース&トピックス

ホーム > ニュース&トピックス > 海洋プラスチックごみ「SDGsアンバサダー活動の紹介」

ニュース&トピックス

海のプラスチックごみ「SDGsアンバサダー活動の紹介」

SDG14、ターゲット14.1



海のプラスチックごみ

概要	<p>私たちは海のプラスチックごみというテーマを選びました。ターゲットSDG14.1では、「2025年までに、海洋ごみや栄養汚染を含む陸上活動によるあらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する」と述べています。報告によると、海のプラスチックの重量は2050年までに魚の重量よりも大きくなると予想されています。」すでに海には大量のゴミがあるため、海流に沿って多くのゴミ地帯が形成されました。また、日本周辺の東アジア海は遠洋マイクロプラスチックのホットスポットです。日本周辺の東アジアの海域のマイクロプラスチックの数は、世界の海の27倍にも及びます。これらの問題を知った後、堀川でゴミを拾うことと、オーシャンスイープのガイドラインに従ってプラスチックごみマップを作成するという2つのアクションを行いました。このプロジェクトを通じて、海のプラスチックごみの状況があまりにも悪いことを知りました。プラスチックごみの悲惨な状況をもっと知り、ほんの少しでもできる行動をとるべきです。さらに、日常生活におけるプラスチックの使用を減らさなければなりません。</p> <p>1)プラスチックごみマップ の作成オーシャンスイープのプログラムの一つである、川や海に浮かぶゴミの写真を撮ってごみマップの作成に参加しました。オーシャンスイープのホームページから、日本のプラスチックごみの場所を示す地図を見つけることができます。アクティビティへの参加は簡単です。まずは、川や海のプラスチックごみを探します。次に、プラスチックごみの写真を撮ります。最後に、写真を電子メールで送信します。メンバーたちは今回の活動のために春日井市の宇都津川に行くことにしました。ゴミを見つけましたが、想像していたよりも少なかった。手の届きにくい場所に、酒の缶、ペットボトル、透明なビニールファイル、ゴミが置かれていたのが発見されました。</p> <p>2)堀川でのゴミ拾い堀川でのゴミ拾いにも参加しました。NPO法人堀川まちネットの毎月第3日曜日に堀川でボランティア活動に参加しました。ゴミ拾い活動は1時間です。活動終了後は、ゴミを分別してまとめました。タバコの吸い殻は最も一般的な種類のゴミでした。2つ目は、ペットボトルのキャップなどのプラスチック廃棄物です。このボランティア活動を通じて、川に捨てられたゴミの中には思ったよりも多くのプラスチックが含まれていることがわかりました。ボランティア活動の後、参加証明書を受け取りました。</p>
年/月	2023年4月～2023年7月
URLの	ncutimetoactnow Instagramアカウント オーシャンスイープ 堀川町ネット

1, Kawasumi, Mizuho-cho, Mizuho-ku, Nagoya, 467-8601	1, Yamanohata, Mizuho-cho, Mizuho-ku, Nagoya, 467-8501	3-1, Tanabe-dori, Mizuho-ku, Nagoya, 467-8603	2-1-10, Kita Chikusa, Chikusa- ku, Nagoya, 464-0083
アクセス キャンパスマップ	アクセス キャンパスマップ	アクセス キャンパスマップ	アクセス キャンパスマップ

SDGs活動紹介

[ホーム](#) > [SDGs活動紹介](#) > [田辺通キャンパス周辺の清掃活動を実施](#)

[全画面プリント](#)

[本文プリント](#)

SDGs活動紹介

田辺通キャンパス周辺の清掃活動を実施



活動の概要	<p>2023年6月14日、薬学部・薬学研究科の学生と教職員が中心となり、陽明学区連絡協議会、パロマ瑞穂パーク、名古屋市緑政土木局の方と協力して、田辺通キャンパス周辺の清掃活動を行いました。</p> <p>○実施場所：田辺通り沿いグラウンド横の歩道の清掃 ○参加者：29名 ・学生：16名 大学院博士前期課程2年生 2名 薬学科6年生 5名 薬学科4年生 7名 生命薬科学科4年生 2名 ※頭金先生の研究室（8名）、林先生の研究室（7名）、桑先生の研究室（1名） ・教員：3名（薬学研究科 頭金先生、寺坂先生、柴田先生） ・事務局：4名 ・瑞穂区：4名（陽明学区連絡協議会） ・パロマ瑞穂スポーツパーク：1名 ・瑞穂土木事務所：1名</p> <p>回収した落ち葉は、ゴミとして出すのではなく、薬用植物園の肥料として使用するよう『堆肥置き場』に集めました。</p>
活動の時期	2023年6月



スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス
〒467-8601
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

滝子（山の畑）キャンパス
〒467-8601
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

田辺通キャンパス
〒467-8603
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

北千種キャンパス
〒464-0083
名古屋市千種区北千種2-1-10

医学部	医学研究科	経済学部	経済学研究科	薬学部	薬学研究科	芸術工学部	芸術工学研究科
看護学研究科		人文社会学部	人間文化研究科	交通アクセス	キャンパスマップ	交通アクセス	キャンパスマップ
交通アクセス	キャンパスマップ	総合生命理学部	理学研究科				
		データサイエンス学部	データサイエンス研究科				
		交通アクセス	キャンパスマップ				

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 環境デーなごや2023パートナーシップ事業として地域美化活動を実施

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

環境デーなごや2023パートナーシップ事業として地域美化活動を実施



活動の概要	環境デーなごや2023パートナーシップ事業の一環として、2023年6月9日金曜日に桜山（川澄）キャンパス周辺の地域美化活動を行いました。 当日は、SDGsセンターの林センター長を含む教職員と学生合わせて12名が参加し、桜山（川澄）キャンパス周辺の清掃を行いました。
活動の時期	2023年6月
関連URL	環境デーなごや地域行事Webサイト



スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

滝子(山の畑)キャンパス

〒467-8501
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

田辺通キャンパス

〒467-8603
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
-----	-------

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

北千種キャンパス

〒464-0083
名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
-------	---------

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 生物多様性に関するシンポジウムを名古屋市と共催しました

全画面プリント 本文プリント

SDGs活動紹介

生物多様性に関するシンポジウムを名古屋市と共催しました



2024年3月24日（日曜日）、本学の理学研究科附属生物多様性研究センターは、名古屋市環境局なごや生物多様性センターと「なごや生物多様性シンポジウム2024～みんなでつなごう生物多様性の未来～」を共催しました。

会場となった田辺通キャンパス宮田専治記念ホールには当日、12校の高校・大学からの約100名の参加者を含めて200名以上が来場し、大盛況でした。普段なかなか接点がない専門家・研究者と高校生・大学生が交流する良い機会となりました。

○当日の内容

第一部：生物多様性調査の専門家によるなごやの希少種報告

第二部：高校生・大学生が日頃の活動成果を発表するポスターセッション

第三部：名古屋市大の研究者による生物多様性・SDGs研究報告

なごや生物多様性シンポジウム2024（名市...



（第三部：名古屋市大の研究者による生物多様性・SDGs研究報告より）

講演者：尾崎 康彦（看護学研究科 教授／医学部附属西部医療センター前副病院長）

演 題：アニマルウェルフェアを目指した大型類人猿の診療ネットワークの構築
ー動物とヒトとの共存のために私たちにできることー

※本動画には、大型類人猿の不妊に対する医療行為及び関連する解説の中で生殖器、精液採取等に関する映像が含まれます。

スマートフォン表示

PC表示

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	
交通アクセス	キャンバスマップ

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ